



# 七里小だより

## 3月号

さいたま市立七里小学校  
令和6年3月1日

さいたま市立七里小学校  
校長 保坂 泰司

保護者の皆様、こんにちは。季節は着実に春に向かっていっていると実感させられる今日この頃です。気温の変化も大きくなる時期でありますので、ご自身、ご家族の健康管理には十分注意してください。さて、令和5年度も1か月となりました。子どもたちには、ひとつ学年が上がること、ひとつお兄さん、お姉さんになる自覚をもたせて次年度に対する意欲を高めさせていきます。そのために、①令和5年度を振り返る→今となっては「あっ」という間だった1年間を振り返らせることで、何を大切にしながら学校生活を送ったか、そして、何ができるようになったかをまとめさせる。たくさん答えられれば、それだけ自分自身に対する自信になり、それを今後に繋げることができ、より意欲的に学校生活を送ることができるようになるからです。②令和6年度の目標を明確に→①を行うことで、自分に必要なもの(目標)が見えてくるものと思います。例えば「漢字の書きとりをがんばる」という目標を立てたならば、それで終わりにするのではなく、「どのようにしてがんばるのか」を考えてほしいです。つまり、目標に近づくための具体的な計画を立てることが大切です。後は、その計画を実直に実行していく姿勢、根性を常に持ち続けられればいいと思います。①②をしっかりと行えば、新しい学年での学校生活の日々も大きく変わっていき、子どもにとって充実したものになることを確信します。そのために学校は、子どもと教師の信頼関係を強固に確立し、学校が子どもにとって安心・安全な場所であるとともに、クラスの中に一人ひとりの居場所を確保していきます。「わかった・できた喜び」を十分味わわせる授業を行い、自分は「やればできる」と実感できる子どもたちをはぐくんでいきます。

さて、今月のたよりの裏面に、以前ご協力いただいた「令和5年度 学校評価」結果を掲載させていただきました。特に「ややそう思わない」「そう思わない」(否定的な回答)の回答率が高い項目について、関係する担当職員で対応策について話し合い、次年度の取組について具体的に明記しました(「成果と課題・改善点」)。「2 学校は、朝運動や授業、学校行事等を通して、健康で運動が大好きな子を育てている」と「8 学校は、子どものなやみやいじめなどのトラブル等について、適切に対応している」の項目が、昨年度同様に否定的な回答が多くありました。学校運営協議会テーマ「笑顔で 強く たくましい子」の実現のためには健やかな体と体力が、子ども同士互いに尊重し合い、誰もがのびのびと学校生活を送るためには「いじめ」等のトラブルの未然防止が必要です。そのためには、本校職員全体として明記した対応策を確実に実践してまいります。

最後に、子どもたちが、将来の七里地区、さいたま市、そして日本を背負っていける立派な大人に成長するために、令和6年度も本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。